

小学生が税の大切さを学ぶ

菊池法人会(公社)が小学校で租税教室

6月～7月にかけて、小学校6年生の児童を対象に租税教室が実施されました。次世代を担う児童が税の意義や役割を正しく理解するために、国税庁監修DVDの視聴、税の使い方や身近な税についてのクイズなどがありました。私たちのくらしに税金が大きく関わっていることを学び、児童たちは「税に対する関心度が高まった」と感想を述べました。中でも1億円のレプリカ(重さは実物と同じ)を持つ体験は大盛況でした。



租税教室の一コマ(菊陽南小学校にて)
講師は九州電設(株) なかしまたかゆき
中島隆之さん

「玉職人」たちによるガチンコ玉入れバトル！

第7回菊陽町子ども会アジャタ大会

7月6日、第7回菊陽町子ども会アジャタ大会が町総合体育館で開催されました。アジャタとは公式競技の玉入れのことで、100個の玉を約3分上のかごの中に入れるまでの時間を競うスポーツです。

今大会は21チームが参加し、総勢139人が出場。予選では、チーム毎に3回のタイムトライアルを行い、ベストタイムを出した上位3チームが決勝に進みました。競技中は仲間同士で声を掛け合いながら全力で玉を投げ入れ、体育館には歓声と拍手が響きました。

運営にはジュニアリーダーも携わり、バルーンアートを作って上位表彰者にプレゼントするなど、大会を楽しみ雰囲気彩ってくれました。

見事、優勝に輝いたのは「三里木ウィナーズA」チームでした。大会の結果は次のとおりです。

- 【大会結果】 優勝：三里木ウィナーズA (三里木子ども会)
準優勝：緑陽台A A (緑陽台子ども会)
3位：チームBABA (馬場子ども会)



優勝した「三里木ウィナーズA」チーム



選手宣誓をする「チームBABA」



力を合わせて一斉に玉を投げる子どもたち



ジュニアリーダーが作ったバルーンアート

畜産営農継続支援などについて要望

内閣府および農林水産省へ要望書を提出

7月15日と16日、県、県議会、菊池市、合志市、大津町、菊陽町は合同で、農林水産省と内閣府に対し、菊池地域における近年の急激な変化の中で、バランスの取れた産業振興を図るため、畜産営農継続支援と地方創生に関する要望書を提出しました。

要望の概要は、①意欲ある畜産農家の施設・機械整備に対する支援、②家畜排せつ物処理の新技术開発・実証、③新たな価値創造に対する総合的支援(第2世代交付金)の3項目です。



左から金田大津町長、江頭菊池市長、
竹内熊本県副知事、伊東内閣府特命担当大臣、
高野熊本県議会議員、荒木合志市長、吉本菊陽町長

宝山郷とのバスケット交流を開催しました！ 新竹県宝山郷から中学生・社会人が来日

8月1日に、町と友好交流協定を締結している、台湾の宝山郷の中学生・社会人と交流を深めることを目的として、今年もバスケットボールを通じた交流を、総合体育館で開催しました。

このイベントには、宝山郷チームの対戦相手として、菊陽中学校・武蔵ヶ丘中学校・翔陽高校のバスケットボール部や、本町を拠点に活動している社会人チームも参加し、交流試合を行いました。参加者の人々は、普段なかなか経験することができない、国際交流の時間を楽しんでいました。

また、閉会式では、武蔵ヶ丘中学校と宝山郷の代表者3人による感想発表や、宝山郷からの記念品として、名前入りのユニフォームの贈呈もあり、受け取った人々はとても喜んでいました。

交流が終わり、宝山郷の人々とのお別れの際には、写真を撮影したり、姿が見えなくなるまで手を振り合っていました。



1. 参加者集合写真
2. 名前入りのユニフォームを手に記念撮影
3. 宝山郷の代表者による感想発表

町の未来を考える

子ども議会を開催しました

8月6日、子どもたちが町の政治に関心を深め、住みよいまちづくりの担い手となることを目指し、「子ども議会」を開催しました。

菊陽中学校と武蔵ヶ丘中学校から選ばれた代表生徒13人(当日1人欠席)が参加し、そのうち8人が、日頃感じている生活の疑問や課題について町に質問を投げかけました。今回は、令和7年3月に策定された「第7期菊陽町総合計画」をもとに、町の取り組みや将来像について執行部が答弁を行い、町の未来を考える貴重な機会となりました。

代表あいさつ抜粋

これから、わずか数年で私たちは成人となり、投票権を持つ身として、政治に参加します。その中で、自分の暮らす町について関心を持つことが政治への第一歩です。菊陽町という、このすばらしい町が「ともに 輝き 成長しつづけるまち 菊陽」として、ますます住みよい町となっていくよう、私たちも努めていきます。



武蔵ヶ丘中学校
のなかゆうま
野中佑真さん



1. 議会を終えて笑顔を見せる子ども議員
2. スライド資料を使い質問を行う子ども議員
3. 子ども議員の質問に感想を述べる町長

海外の技術を習得

ジョンクランコバレエスクールに参加

7月22日、先進的な技術や知識習得を目的とした、人材育成基金助成事業を活用し、ドイツへバレエの短期留学をした中島日菜さん(光1町内)が町長に成果を報告しました。

中島さんは、「改めてプロダンサーになりたいという自分の夢を確信した。応援していただいた人に恩返しできるように、夢に向かって頑張る姿を届けたい」と話しました。



中島さんと吉本町長

災害に強い町を目指して

避難生活支援リーダー／サポーター研修を開催しました

7月26日～27日、町総合体育館において、内閣府・県と共催で「避難生活支援リーダー／サポーター研修」を開催しました。

本研修は、避難所の生活環境を改善し「災害関連死」を防ぐことを目的として、2022年から内閣府のモデル事業として全国で展開しているものです。防災士、福祉関係者、看護師、薬剤師、自主防災組織の関係者、一般町民など、10～80代の55人が参加しました。

研修では、避難所を再現したスペースを用いて、課題の抽出や改善策の検討を行ったほか、被災者役と支援者役に分かれてのロールプレイングを通じて、実践的な被災者とのコミュニケーションの取り方を学びました。考え方や背景の異なる多様な立場の参加者が、避難生活の環境向上という共通のテーマのもと、お互いの意見に耳を傾け、熱意をもってグループワークに取り組みました。

全ての講座を受講した人には、内閣府より「避難生活支援リーダー／サポーター修了証」が交付されました。



研修に取り組む参加者

健康長寿プロジェクト始動

脳活！シニアチャレンジ教室

TSMC慈善財団および熊本大学と連携し実施する協力事項のひとつ、健康長寿プロジェクト「脳活！シニアチャレンジ教室」が、8月から総合体育館で始まりました。

これは、町民の健康増進と学術研究発展への貢献を目的としたもので、町民51人が参加。6日午後に開催した教室には、吉本町長も参加し、認知症予防に大切な生活習慣に関する座学や、認知トレーニング、運動を行いました。

本教室は、令和8年度以降も継続して実施することとしています。町ではこの取り組みを通じ、要支援・要介護認定率の改善や認知症患者の減少を目指します。



グループワークに参加した吉本町長



スクワットに取り組む参加者

屋久杉で結ばれた友情の夏

屋久島町子ども交流会

8月6日～9日、姉妹都市である屋久島町の小・中学生20人が本町を訪問しました。

1日目は鼻ぐり井手や杉並木公園を見学した後、本町の小・中学生19人と総合体育館でネイチャーゲームに挑戦。一緒に課題をクリアするうちに緊張が解け、言葉を交わす場面も増えました。2日目はグリーンランドに行き、アトラクションを楽しみました。初めてのアトラクションを楽しむ参加者もあり、歓声が上がりました。

参加者からは「短い期間だったけれど友達ができた。来年は屋久島町に行ってまたみんなと会いたい」と感想を述べました。



両町の参加者たち

「菊陽町合併70周年記念」小野伸二サッカー教室で世界の技を伝授

「小野伸二サッカー教室 Enjoy football in きくよう」

8月16日、講師に元サッカー日本代表のおのしんじ小野伸二さんと、ロアッソ熊本でも活躍された元Jリーガーのはらかずき原一樹さんを迎え、町内の小学4年生～中学3年生までを対象としたサッカー教室を実施しました。

ドリブルの練習や、2人組でのパス練習などの基礎練習のほか、ミニゲームも行われ、小野さんと原さんと一緒に試合をし、ハイタッチを交わすなど、子どもたちは貴重な体験に目を輝かせていました。

また、参加した子どもたちに、参加賞として小野さんと原さんのサイン入りの色紙のプレゼントや、じゃんけんの勝者1人には、小野さんが実際に着用していた服のプレゼントなどもあり、貰った子どもたちは、とても嬉しそうに持ち帰っていました。



お手本を見る子どもたち



小学生の部 集合写真



ドリブル練習



中学生の部 集合写真

「菊陽町合併70周年記念」小野千恵子講演会を実施しました

「犬にも感情があるって本当？犬から学ぶ友達と仲良くするコツ」

8月16日、講師に小野伸二さんの妻であり、ファッションモデルで実業家のおのちえこ小野千恵子さんを迎え、「犬にも感情があるって本当？犬から学ぶ友達と仲良くするコツ」と題した講演会を菊陽町図書館ホールで開催しました。

小野さんは、4月に立ち上げた、パウリブプラス(一社)の活動内容の一つである小学校などでの「命の授業」の実施経験や、以前住んでいたオランダで実際に見て、感じられたことをお話をされました。

参加者は、犬の気持ちや性格などについて考え、感じたことをメモに書いたり、小野さんに直接質問していました。

また、講演会の最後にフリートークの時間を設け、小野伸二さん、小野千恵子さん夫妻、原一樹さん、吉本町長と、参加者を交えて意見を交換し合える、いい機会となりました。



笑顔で話す
小野千恵子さん



フリートークの様子 左から林田アナ、千恵子さん、伸二さん、原さん、吉本町長